

日出町告示第104号

平成29年第4回日出町議会定例会を次のとおり招集する

平成29年11月24日

日出町長 本田 博文

1 期 日 平成29年12月1日

2 場 所 日出町議会議事堂

○開会日に応招した議員

衛藤 清隆君	岡山 栄蔵君
阿部 真二君	上野 満君
金元 正生君	川西 求一君
岩尾 幸六君	土田 亮治君
池田 淳子君	工藤 健次君
安部 三郎君	森 昭人君
佐藤 隆信君	熊谷 健作君
佐藤 二郎君	白水 昭義君

○12月5日に応招した議員

○12月6日に応招した議員

○12月19日に応招した議員

○応招しなかった議員

なし

平成29年 第4回(定例)日出町議会会議録(第1日)

平成29年12月1日(金曜日)

議事日程(第1号)

平成29年12月1日 午前10時00分開会

開会、開議の宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 行政報告

日程第5 委員長報告

質疑・討論・採決

日程第6 発委第6号 議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

日程第7 承認第8号 平成29年度日出町一般会計補正予算(専決第2号)について

日程第8 議案第52号 平成29年度日出町一般会計補正予算(第3号)について

日程第9 議案第53号 平成29年度日出町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について

日程第10 議案第54号 平成29年度日出町介護保険特別会計補正予算(第2号)について

日程第11 議案第55号 平成29年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について

日程第12 議案第56号 日出町工場立地法地域準則条例の制定について

日程第13 議案第57号 職員の給与に関する条例等の一部改正について

日程第14 議案第58号 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

日程第15 議案第59号 日出町民水泳プールの設置及び管理に関する条例の廃止について

日程第16 同意第12号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

日程第17 報告第7号 損害賠償の額を定めることについて

趣旨説明並びに提案理由の説明

散会の宣告

本日の会議に付した事件

開会、開議の宣告

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 会期の決定

日程第3 諸般の報告

日程第4 行政報告

日程第5 委員長報告

質疑・討論・採決

日程第6 発委第6号 議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

日程第7 承認第8号 平成29年度日出町一般会計補正予算（専決第2号）について

日程第8 議案第52号 平成29年度日出町一般会計補正予算（第3号）について

日程第9 議案第53号 平成29年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について

日程第10 議案第54号 平成29年度日出町介護保険特別会計補正予算（第2号）について

日程第11 議案第55号 平成29年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について

日程第12 議案第56号 日出町工場立地法地域準則条例の制定について

日程第13 議案第57号 職員の給与に関する条例等の一部改正について

日程第14 議案第58号 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

日程第15 議案第59号 日出町民水泳プールの設置及び管理に関する条例の廃止について

日程第16 同意第12号 固定資産評価審査委員会委員の選任について

日程第17 報告第7号 損害賠償の額を定めることについて

趣旨説明並びに提案理由の説明

散会の宣告

出席議員（16名）

1番 衛藤 清隆君

2番 岡山 栄蔵君

3番 阿部 真二君

4番 上野 満君

5番	金元 正生君	6番	川西 求一君
7番	岩尾 幸六君	8番	土田 亮治君
9番	池田 淳子君	10番	工藤 健次君
11番	安部 三郎君	12番	森 昭人君
13番	佐藤 隆信君	14番	熊谷 健作君
15番	佐藤 二郎君	16番	白水 昭義君

欠席議員（なし）

欠 員（なし）

事務局出席職員職氏名

局長	井川 功一君	次長	河野 匡位君
----	--------	----	--------

説明のため出席した者の職氏名

町長	……………	本田 博文君	副町長	……………	目代 憲夫君
教育長	……………	堀 仁一郎君	会計管理者兼会計課長	…	土谷美香子君
総務課長	……………	野上 悟君	財政課長	……………	脇 英訓君
政策推進課長	……………	大塚 一路君	契約検査室長	……………	川野 敏治君
税務課長	……………	岡野 修二君	住民課長	……………	堀 雅之君
福祉対策課長	……………	阿部 孝君	子育て支援課長	……………	佐藤久美子君
健康増進課長	……………	利光 隆男君	生活環境課長	……………	岩尾 修一君
商工観光課長	……………	藤原 寛君	農林水産課長	……………	今宮 明君
都市建設課長	……………	松本 義明君	上下水道課長	……………	佐藤 義人君
教育委員会教育総務課長	…	藤本 英示君	教育委員会学校教育課長	…	浅野 邦広君
生涯学習課長	……………	佐藤 寛爾君	文化振興室長	……………	工藤 智弘君
監査事務局長	……………	宮本 洋二君	総務課課長補佐	……………	帯刀 志朗君
財政課課長補佐	……………	白水 順一君			

午前10時02分開会

○議長（白水 昭義君） 皆さん、おはようございます。

開会、開議の宣告

○議長（白水 昭義君） ただいまの出席議員は16名です。定足数に達していますので、平成29年第4回日出町議会定例会を開会いたします。

今期定例会に提案されています議案につきましては、後ほど御説明がありますが、発議1件、承認1件、議案8件、同意1件、報告1件が提出されています。

議員各位におかれましては慎重に御審議を賜り、適切な議決をいただくとともに、議会運営全般にわたり格別の御配慮と御協力をお願いいたします。

これより本日の会議を開きます。

会議の議事はお手元に配付しております議事日程により行います。

日程第1. 会議録署名議員の指名

○議長（白水 昭義君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

今期定例会の会議録署名議員は、会議規則第127条の規定により、6番、川西求一君、13番、佐藤隆信君を指名します。

日程第2. 会期の決定

○議長（白水 昭義君） 日程第2、会期の決定についてを議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、11月24日の議会運営委員会におきまして、本日から12月19日までの19日間という案を作成しましたが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（白水 昭義君） 異議なしと認めます。したがって、本定例会の会期は、本日から12月19日までの19日間に決定しました。

日程第3. 諸般の報告

○議長（白水 昭義君） 日程第3、諸般の報告を行います。

最初に、去る11月6日に、姫島村離島センターやはずで開催されました大分県町村議会議長会主催の議員研修会は、講師の姫島村国民健康保険診療所所長 三浦源太氏から、「姫島の地域包括医療ケア」と題して講演がありました。離島だからできる医療と介護について、具体例を出しながらの説明で、大変参考になる研修でした。

続きまして、去る11月22日に行われました第61回町村議会議長全国大会が東京のNHKホールにおいて開催され、県内の町村議長とともに出席しましたので、その概要について報告いたします。

大会は、全国の町村議会関係者約1,800人が出席する中、「地方創生の実現をめざして」をメインテーマに開幕し、主催者を代表して櫻井正人会長が挨拶に立ち、議員のなり手不足について触れ、この問題には職業との両立、選挙制度のあり方、低額な議員報酬など制度的な問題と、地域特有の事情が複雑に絡み合っており、簡単に答えを出せるものではないが、現実をしっかりと分析した上で、地方議会議員の位置づけの明確化、人材確保のための環境整備、地方議会議員の厚生年金制度への加入などあらゆる側面から打開策を探っていくとの方向性を示しました。

続いて、特別国会対応のため出席がかなわなかった安倍晋三内閣総理大臣のメッセージ披露の後、大島理森衆議院議長、小倉将信総務大臣政務官、唐澤剛地方創生総括官ほか多数の御祝辞をいただきました。

来賓祝辞の後、議事に入り、東日本大震災及び熊本地震からの復旧・復興と大規模災害対策の確立など要望35件、町村議会議員のなり手不足対策として地方議会議員の位置づけの明確化など、重点要望4件が提案、説明があり、決議、要望は満場一致で採択されました。

大会終了後、元総務大臣の益田寛也氏による「地方自治を実り豊かに」と題して特別講演があり、充実した大会でありました。

次に、平成29年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会の概要について、同組合議会議員池田淳子君に報告をお願いします。9番、池田淳子君。池田君。

○議員（9番 池田 淳子君） 去る11月20日に開催されました平成29年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会につきまして、その概要を報告いたします。

別府市議会議場において、午前10時から本会議が開会され、今期上程いたしました議案は、条例議案1件、決算議案並びに人事議案1件の計3議案でした。

はじめに、議第8号別杵速見地域広域市町村圏事務組合葬斎場の設置及び管理に関する条例の一部改正についてにつきましては、住民以外（圏域外）の者の火葬室及び安置室の使用料について、現行、県内の葬斎場と比べて著しく低料金で設定されていることから、使用料金の増額改正を行うものです。

また、告別室の使用料につきましては、利用者の多くは短時間で使用が多いことから、現行の1回2時間使用の設定料金1万280円、住民以外のもの2万5,710円から次の3段階の料金設定へと改正を行うものです。

まず、使用時間が30分以内のときは2,570円、住民以外の者6,420円。次に、30分を超え1時間以内のときは5,140円、住民以外の者1万2,850円。最後に、1時間を超え2時間以内の使用のときは1万280円、住民以外の者2万5,700円の3段階です。

この議案につきましては、環境衛生委員会審査を経て、全員異議なく、原案のとおり可決されました。

次に、議第9号平成28年度別杵速見地域広域市町村圏事務組合一般会計及び各特別会計歳入歳出決算の認定については、決算の内容については、一般会計では予算現額8億2,037万5千円に対し、歳入歳出決算額とも7億9,939万5,181円となっており、歳入歳出差し引き額は0円であり、翌年度へ繰り越す財源はないため、実質収支額は0円。

秋草葬斎場事業特別会計については、予算現額1億1,003万6千円に対して歳入歳出決算額とも9,621万4,485円となっており、歳入歳出差し引き額は0円であり、翌年度へ繰り越す財源はないため、実質収支額は0円。

藤ヶ谷清掃センター事業特別会計については、予算現額9億4,143万8千円に対して歳入歳出決算額とも9億3,511万6,468円となっており、歳入歳出差し引き額は0円であり、翌年度へ繰り越す財源はないため、実質収支額は0円。

介護認定審査会事業特別会計については、予算現額2,716万2千円に対して、歳入歳出決算額とも2,500万8,662円となっており、歳入歳出差し引き額は0円であり、翌年度へ繰り越す財源はないため、実質収支額は0円。

この議案につきましては、総務福祉委員会並びに環境衛生委員会の各委員会審査を経て、全員異議なく、原案のとおり認定されました。

最後に、議第10号監査委員の選任につき組合議会の同意を求めることについては、本事務組合監査委員のうち識見を有するものとして選任されていた監査委員の辞任に伴い、後任者は田邊貞夫氏（杵築市山香町小武）を選任いたしたく、地方自治法第196条第1項の規定により組合議会の同意を求め、全会一致により同意を得ました。

以上、平成29年第2回別杵速見地域広域市町村圏事務組合議会定例会の報告といたします。

○議長（白水 昭義君） 次に、平成29年第2回杵築速見環境浄化組合議会定例会の概要について、同組合議会副議長、土田亮治君より報告をお願いします。8番、土田亮治君。

○議員（8番 土田 亮治君） 杵築速見環境浄化組合議会の報告をいたします。

平成29年第2回杵築速見環境浄化組合議会定例会が11月27日、日出町議会議事堂で開催されましたので、その概要を御報告申し上げます。

本定例会に上程されました案件は、議案1件、認定1件及び同意1件であります。

まず、議案第3号平成29年度杵築速見環境浄化組合会計補正予算（第1号）についてであります。

補正額は、448万8千円を増額し、歳入歳出予算の総額を2億7,963万1千円とするものであります。この補正は、施設保全のための工事請負費が主なものであります。

次に、認定第1号平成28年度杵築速見環境浄化組合会計歳入歳出決算の認定についてであります。

歳入決算額2億5,364万8,822円に対し、歳出決算額2億4,915万9,221円であります。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた実質収支額は、448万9,601円で、その金額を翌年度に繰り越すものであります。

また、監査委員から監査結果の報告がございました。

次に、同意第2号杵築速見環境浄化組合監査委員の選任についてであります。

知識経験者より監査委員として選任されておりました日出町大字川崎3395番地の2、阿部長夫氏が、平成29年11月30日をもって辞任することにより、その後任といたしまして、日出町大字大神1860番地、堀寛爾氏を選任するものであります。

以上、上程されました議案1件、認定1件及び同意1件につきましては、審議の結果、全員一致で原案のとおり可決、認定及び同意されました。

これをもちまして、甚だ簡単ではございますが、平成29年第2回杵築速見環境浄化組合議会定例会の報告といたします。

○議長（白水 昭義君） 以上で、諸般の報告を終わります。

日程第4. 行政報告

○議長（白水 昭義君） 日程第4、行政報告を行います。

町長、本田博文君。町長。

○町長（本田 博文君） 皆さん、おはようございます。

本日、平成29年第4回日出町議会定例会を開催するに当たり、御通知を申し上げましたところ、議員の皆様には、何かと御多用の中を御出席を賜り、御審議をいただきますことに対しまして、厚く御礼を申し上げます。

まずは、去る9月17日に大分県に接近した台風18号により、津久見市・佐伯市などを中心に、河川の氾濫や土砂崩れ等により甚大な被害が発生し、人的被害のほか多くの建物、農地・農業用施設、さらに、農林業や商工業等にまで広範に被害をもたらしました。被害に遭われた皆様方に心からお見舞いを申し上げます。

津久見市では、災害ボランティアセンターは閉鎖されたものの、被災地では今もなお住民の生活再建やインフラ復旧が急ピッチで進められております。本町の被災地への支援といたしまして、大分県市町村会と連携して、津久見市へ家屋の被害状況調査や土木施設の災害復旧業務に職員を派遣いたしました。本町といたしましても、自然災害への備えを進め、一層の防災体制の強化に努めてまいります。

次に、9月9日から11日にかけて、別杵ブロックを中心に実施された第70回大分県民体育大会についてであります。

大会では、参加した日出町の代表選手が、各種競技で健闘する姿が見られ、総合順位10位、C部優勝、そして躍進1位というすばらしい結果となりました。

団体競技では、なぎなた、弓道の男子近的及びゲートボールが総合2位の成績をおさめ、個人競技では、水泳の男子50メートル自由形やライフル射撃で優勝を果たすなど、随所に活躍が見られたところです。

来年度はB部での戦いとなります。さらに上位を目指して、選手とともに頑張ってもらいます。次に、災害時における応急生活物資供給に関する協定についてであります。

去る9月28日、株式会社トキハイダストリー、生活協同組合コープおおいた、そして株式会社サンリブの3社との連携協定について締結式を行いました。

この協定は、災害が発生または発生するおそれがある場合に、住民生活の早期回復・安定を図るため、相互に協力して生活物資を供給することを取り決めたものです。今後とも3社との連携をしっかりと深めて、町民の安全・安心につながるよう、災害への備えを充実してもらいます。

次に、第12回「ザビエルの道」ウォーキング大会についてであります。

10月15日、第12回「ザビエルの道」ウォーキング大会が開催されました。約210名の参加者が20キロメートル・10キロメートル・5キロメートルの3つのコースに分かれ、自然景観や文化・歴史を感じながら、ウォーキングで健康的な汗を流しました。

ことしは、開催日の前日から雨模様であったため、中央公民館ホールで出発式をとり行いました。当日も朝からの雨の影響で、参加者は例年に比べ減少しましたが、けが人もなく終えることができました。来年はことし以上の参加者をお迎えして、盛大な大会となるよう努めてまいります。

次に、亶理町交流事業についてであります。

亶理町では、本年度、広く町民から参加者を募集し、10月18日から20日の2泊3日の行程で、九州をめぐる亶理町臨時町民号を企画しました。行程初日の10月18日には、約50名の亶理町民の皆様方が本町を訪れました。ホテルソラージュ大分日出で開催された亶理町・日出町交流会には、20名を超える日出町関係者が招待を受け、同行されていた亶理町の齋藤町長や佐藤議長を初めとする亶理町の皆様方から、震災後の力強い復興や防災への取り組みなど、貴重なお話をお聞きすることができ、とても有意義な交流会となりました。

御一行は、日出城址周辺や回天記念公園、松屋寺などの町内観光施設をめぐられ、19日には次の目的地である別府・由布院に向かわれました。

齋藤町長とは、今後ともこのような交流会を通じて、友好都市として町民相互の理解と友好を深め、教育・文化・産業・観光など各分野でのさらなる交流を図っていくことを確認したところでもあります。

次に、日出町功労者表彰式についてであります。

文化の日の11月3日、役場の大会議室におきまして、日出町功労者表彰式を行いました。こ
としは、地方自治、社会福祉、農業振興、教育等の各部門において、個人11名の方へ表彰状と
記念品をお贈りし、それぞれの分野での献身的な活動と町政の推進に御貢献いただいた方々の御
功績をたたえ、敬意と感謝の意を表しました。

次に、2017ひじ産業文化まつりについてであります。

昨年度までひじ産業まつりと文化まつりを文化の日前後に、別々の日に開催しておりましたが、
日出町の産業活動と文化活動を同時に紹介することで互いが持つ魅力により町のさらなるにぎわ
いにつなげていこうという目的から、11月3日、4日の2日間、8年ぶりにひじ産業文化まつ
りとして開催いたしました。

まつりでは、日出町の新鮮な海産物、農産物を食材とした海鮮アラ汁やひじグルメ汁の無料配
布を行ったほか、女優で冒険家の和泉雅子氏による記念講演会、美術作品展、シンポジウムなど
多彩な催しが行われました。

また、大分県で来年度開催されます国民文化祭、障がい者芸術文化祭のプレイベントとして瀧
廉太郎記念音楽会を開催したところでございます。幸いにも、お祭りの両日とも晴天に恵まれ、
多くの方々に御来場いただき、盛大に開催することができました。御協力いただきました多くの
関係者の皆様方に感謝を申し上げます。

次に、日出町福祉健康推進大会についてであります。

11月14日、日出中央公民館におきまして、第12回日出町福祉健康推進大会を、関係者約
180名の御出席のもと、開催いたしました。

家庭や地域での支え合い機能の低下や住民相互のつながりの希薄化などが進む中、住民が地域
社会の中で、生涯にわたって、健康で明るく、生きがいをもって暮らせるまちづくりを進めるた
めに、日出町と日出町社会福祉協議会、日出町老人クラブ連合会の共催で開催いたしました。

大会では、ダイヤモンド婚、金婚、福祉功労賞、明るい子育て大賞、在宅介護賞など60組、
14名、4家族、4団体を表彰しました。

また、「それぞれがお互いに手を携え、思いやり、そして誰もが安心して暮らせる『孤立ゼロ
社会』の実現に向けて邁進する」ことを誓う大会宣言が採択されました。受賞された皆様のます
ますの御健康と御活躍を御祈念申し上げる次第でございます。

以上、甚だ簡単でございますが、行政報告とさせていただきます。

○議長（白水 昭義君） 行政報告が終わりました。

地方自治法第121条の規定により、町長ほか関係職員の出席を求めましたので、御報告しま
す。

日程第5. 委員長報告

○議長（白水 昭義君） 日程第5、委員長報告を行います。

平成29年第3回定例会において閉会中の審査に付された所管事務調査などの結果について報告を求めます。総務産業常任委員会委員長 岩尾幸六君。岩尾君。

○総務産業常任委員長（岩尾 幸六君） それでは、報告を申し上げます。

総務産業常任委員会は、閉会中の11月10日、午前10時より、成果課税と地籍調査の計画並びに所管各課の事務調査を行うため、全委員出席のもと、町長以下所管各課長の出席を求め委員会を開催いたしましたので、その報告と、今後の町民との意見交換会を閉会中の10月18日に開催しましたので、その内容を報告いたします。

まず、税務課より、成果課税に向けた地区説明会の実施状況の確認をいたしました。住民への説明会は、当初、8月17日から9月19日まで、町内10カ所で開催し、343人が説明会に出席、その後、10月16日から11月1日にかけて町内72会場で自治公民館単位での説明会を開催し、436名が参加したとの説明がありました。

このような中で、特例課税廃止に至る町の考え方の説明がありました。

まずは、地籍開始当時に特例課税の導入は調査終了まで適用すると判断したことに異論はないが、行政の事業にPDCAが求められているので、検証してみると、地籍導入当初に比べ人口・世帯数も増加しており、資産価値と課税から見て公平性を保たれていない状態であるため、早い時期に是正することが必要と判断し、平成30年度より実施するとの説明がありました。

今後の対応としては、住民は課税の変動に関心があるため、3月時点で課税地域対象者へ課税の通知を行い、5月に納付書の送付を行うとのことでありました。

また、委員より、課税する税務課と調査測量する農林水産課との是正は行われているのか。税務課は課税する方向で進めており、農林水産課では、不均一課税を承知で地籍調査を進めてきておりますが、町全体ではどのように考えているかの意見に対して、町長より、今後の対応としては平成44年までの15年計画で町内全域の地籍調査を完了させる計画で進んでおります。この事業を計画的に進めるには、税務課と農林水産課を連携させ計画どおりに遂行していくとの説明がありました。

最後に、町政が成果課税導入とする背景には、資産価値と課税から見ると公平性を保てていない状況が存在しているとの説明に対して、委員からは地籍調査は測量時に印鑑をつかなくて未定地になっている方は現状の課税のままであり、これこそが不均衡ではないかとの意見が出されました。

続いて、各課の事務調査報告です。

まず、総務課より、今年度の職員採用試験結果報告がありました。1次試験の申し込み者は146名でしたが、10月15日の受験者数は98名で、そのうち町内受験者は40名とのことでした。1次試験合格者は34名との説明がありました。

次に、今年度行われました衆議院選挙の投票率の説明がありました。今回の投票者数は1万4,327名で、投票率は60.5%、投票日は台風21号の接近で投票率が危ぶまれましたが、期日前投票が5,745票と伸びたため、前回の投票率より約4%の伸びがあったとの報告がありました。

委員より、今回、期日前投票数は伸びたが、投票所をふやせばさらなる投票率の向上が見込めるが、検討するかの意見に対し、投票所を複数箇所ふやすことは現状のシステムでは投票のダブルチェック等の困難や投票者の確認などで職員の業務がふえることが懸念されるため、慎重に検討していかなければならないとの回答がありました。

次に、財政課からは、一般会計補正予算についての説明がありました。その内容は、10月に行われた衆議院選挙に関する補正予算で、その額1,187万8千円で、補正後の予算総額は103億3,651万7千円との報告がありました。

続いて、平成30年度の当初予算編成スケジュール説明がありました。

当初予算編成の方針の説明会は11月2日に行い、11月30日は当初予算要求書の財政課提出期限、12月11日から12月19日までは財政課のヒアリング査定を行い、町長査定は来年度1月16日から1月19日とのスケジュール報告がありました。

次に、政策推進課より、住民アンケートより要望のあったコミュニティーバスバス停の増設要望と、国東観光バスの増便要請を日出町生活交通確保維持協議会で議案として上程し、審議、承認後に九州運輸局に届け出を行い、承認をいただきましたとの報告がありました。

今回、路線変更の場所は、町内酒井病院前にコミュニティーバス停の新設と国東観光バス路線では、大神漁港から日比ノ浦、高尾路線の変更説明がありました。

契約検査室からは、今年度の予算ベースで80%の進捗率であることが報告されました。そのほか委員からの質問もありませんでした。

次に、生活環境課からの報告はなく、委員より、スズメバチ駆除の助成金についての意見がありました。

今年度全国的にスズメバチが異常発生し、日出町においてもハチ駆除の依頼が多く発生したとの情報から、ハチ駆除の助成金を見直してはどうかとの意見が出されました。

町長より、一昨年の実績より今年度の予算を決めたが、今年度はハチの発生が多いと聞きまして、来年度は前向きに検討していきたいとの返答でした。

次に、商工観光課より2件の報告がありました。

まず、「ザビエルの道」ウォーキング大会の参加者人数についての報告があり、今年度は残念ながら雨の中での大会であったためか、昨年度438名に対して今年度は210名の参加であったとの報告がありました。

次に、企業誘致に関する報告があり、企業名は株式会社クロスケミ大分という会社で、SCRシステム対応尿素水の製造工場であります。工場の誘致は大神の原山工業用地で、6千平方メートルの敷地に床面積千平方メートルの工場を予定しており、操業開始は平成30年2月予定で、操業開始時の従業員は10名程度、フル稼働時は約30名の雇用を見込んでいるとの報告がありました。

次に、農林水産課から、今後の地籍調査の事業についての説明がありました。平成29年と30年は豊岡、平道の一部を行う計画である。また、今後は地籍調査推進委員を実施地区より2名から3名任命し、調査事業をスムーズに行う計画も持っている旨の報告がありました。

また、11月3日、4日に開催されましたひじ産業まつりの結果報告がありました。ことしは8年ぶりに産業まつりと文化まつりを合同開催し、来場者数は2日間で1万3千名との報告がありました。

式典は、功労者表彰の受賞者は8名、農水産・観光・文化・芸術部門で5名、文化芸術奨励賞が3名でした。

また、会場をにぎわすブースには、豊岡地区婦人会のふるさとレストランを初め飲食販売コーナーが11ブース、野菜・果物・加工品が26ブースの参加がありました。

また、3日は大分県漁協日出支店による海鮮アラ汁、4日はJA別府日出農産物加工所によるひじグルメ汁の無料配布があり、そのほか和泉雅子氏の記念講演や瀧廉太郎記念音楽会なども開催されたとの報告がありました。

次に、都市建設課から、都市計画マスタープランの制定の見直しの途中経過報告がありました。

見直しは平成29年から平成30年の2カ年作業で計画しており、現在まではアンケート調査を2回に分け実施、町づくり懇談会は2カ年のうち4回の開催を計画しており、特に今回からは、参加者より町内の問題点や課題を抽出し、それに対する政策立案等のシミュレーションを行い、まとめ上げる手法を取り入れ実施するとの説明がありました。

最後、上下水道課より工事の経過報告がありました。

日出町の浄化センターの耐震工事の10月末の進捗率は83%の報告がありました。また、浄化センターの汚泥機器濃縮機の設置委託は、下水道事業団に3億3千万円で委託している部分で、電気設備工事については三菱電機株式会社が落札したとの報告がありました。また、水道の面整備工事発注は2件あり、豊岡住宅団地47号線にパイ150の配水管260メートルの工事と大神の片原津町道高津線にパイ150の配水管を330メートルの施工予定となっているとの報告

がありました。

以上、所管各課の報告でございました。

続きまして、当委員会は、10月18日、午前10時より、日出町役場4階の第一会議室において区長会との意見交換会を開催いたしましたので、その内容を御報告いたします。

参加に関しましては、当委員会の委員8名と日出町区長会からは各地区の会長と副会長、トータル10名が参加されました。意見交換に関しては、事前に町政全般に伴う意見と題して、地域の課題や行政への要望等を考えて参加していただきましたので、その一部を紹介いたします。

まず、大神地区からは主要農産物の生産農家に対する戸別所得補償政策は多くの稲作農家を支えてきましたが、平成30年の生産米から廃止されようとしているが、町としてはどのような対応を行うのか。

次に、豊岡地区からは、魚見桜祭りが中断されていたが、祭りの復活を町に要請したところ、町政は近隣の地域との連携をさらに強化していただきたいとのことでしたが、委員会としては、否かお聞きしたいと。

続いて、川崎地区からは、町営青津山住宅は、入居も控えている老朽化住宅であり、現在50世帯が入居しているが、耐震補強もできなく、空き家になり次第壊すように聞いているが、先々どのような展望になっているのか。

日出地区からは、町が舗装した里道が近年補修が必要となってきたが、町は、里道補修は地域で行うようになっていられると言われるが、町中では地域外の多くの町民が利用するため、条例の見直しを議会で行っていただきたい。

藤原地区からは、高齢化の進む中で、町道の雑草の維持管理や住宅地の枝が町道へかかるなどの問題が多く発生しているがどのように対応するのかなど、そのほか多くの意見が出されました。

その中で、当委員会で回答できる内容のものは説明を行いました。所管各課への確認や回答を求める内容につきましては、町民との意見交換会としてまとめた内容を各担当課長へ示して閉会中の委員会にて回答を求めました。

また、各課の回答は、議事録にまとめまして区長会に今後御報告いたします。

以上、甚だ簡単ではございましたが、総務常任委員会が閉会中に行いました町民との意見交換会の御報告とさせていただきます。

○議長（白水 昭義君） 次に、福祉文教常任委員会委員長 岡山栄蔵君。岡山君。

○福祉文教常任委員長（岡山 栄蔵君） それでは、福祉文教常任委員会の閉会中に行いました所管各課の事務調査及び町民との意見交換会について御報告をいたします。

去る11月16日、副町長を初め教育長、所管各課長の出席を求め、委員全員出席のもと、事務調査を行いました。

まず、福祉対策課より、まちづくり座談会の開催について説明がございました。

この座談会の目的として、社会福祉法第107条に基づく市町村地域福祉計画と同法109条に規定し社会福祉協議会が策定する市町村地域福祉活動計画とを一体的に作成するためであります。

また、平成28年に障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律が施行され、障がいがある人もない人も相互に人格と個性を尊重しながら共生していく社会の実現を求め、本町においても障がいを理由とする差別の解消を推進するための基本理念として、日出町障がい者条例の制定を目指すためであります。

座談会の内容として、4グループに分かれ、地域福祉について、差別についてなど各テーマごとに議論をし、参加者総数、6日間で172名の参加であったとの報告でありました。委員から、今回の座談会での議論が福祉計画や条例に反映しているか、確認できる資料の提出を求めました。

次に、子育て支援課より、子育てほっとクーポン活用事業に係る追加事業について、日出町民限定で、平成29年12月1日からハーモニーランド入園チケット購入におおいた子育てほっとクーポンが利用できるとの報告がありました。内容として、ハーモニーランドの利用は、3歳までのお子さんは無料のため、4歳から小学生のお子さんが対象となり、保護者は対象外となります。

なお、この資料は、11月8日、区長回覧で配布をしております。

次に、川崎なかよし児童クラブ整備事業の進捗状況について説明がありました。

建物の建設はできており、現在は内部の工事を行っているとの報告であります。また、事業開始予定は平成29年12月22日の予定であるとの報告であります。

次に、会計課、監査事務局ともに大きな報告事項はなく、通常どおり業務を行っているとの報告であります。

次に、教育総務課より、個人情報流出のおそれがある事案について説明がありました。新聞・テレビで報道されたように、町立幼稚園において個人情報が保存されたパソコンが紛失していることが10月24日に明らかになり、個人情報が流出するおそれがあるということで公表を行ったとの報告がありました。

今回の事案で問題となった事故について検証を行った結果、パソコンの台数不足により私物のパソコンを使用していたこと、遵守すべき情報セキュリティと慎重な取り扱いを行うべき個人情報に対する認識が不足していたことが問題であり、その対応策として日出町情報セキュリティポリシー、職員のための個人情報保護・情報セキュリティハンドブックを各幼稚園に配布し、個人情報の取り扱い上の注意事項や情報セキュリティの重要性を職員に再認識させた上、個人情報保護及び情報セキュリティに関して職場で必要な知識と具体的な対応について研修を行っている

の報告であります。

また、全ての幼稚園において、不足しているパソコンの台数を調査し、不足分について早急に補充し、必要なソフトを全部のパソコンにインストールするとの報告でありました。

次に、小学校エアコン設置事業について説明があり、学校施設環境改善交付金事業として文科省から内定をもらった事業、日出小学校エアコン設置事業、藤原小学校エアコン設置事業、川崎小学校エアコン設置事業の補正予算を12月議会に計上したいとの報告がありました。

次に、学校教育課より、平成29年度全国学力調査の結果について報告がありました。小学校6年生では、全教科で平成28年度を上回る結果となり、特に国語A、算数A、Bで全国平均を大きく上回りました。

中学校3年生では、全教科で全国平均を下回る結果となり、同一児童生徒を比較すると、6年生のときは3教科で全国との差がプラスであったが、今年度全ての教科で全国との差がマイナスとなり、今後の対応として、各校で結果を分析し、授業の改善や実態に即した具体的な取り組みを進めていくとの報告でありました。

委員から、生徒児童のいじめ問題について、現状はどうなっているかとの質問に対し、小学校低学年は多く、認識として、自分がいじめられたと感じればいじめと認識し、現在は数が多いですが、先生方も解消に向け取り組みを行っているとの報告でありました。

また、委員から、近年はラインからツイッターに変わり、先日起きました神奈川県連続殺人事件もあり、非常に危惧するところであるため、今後、PTAを通じ啓発活動を行うよう要望いたしました。

次に、文化振興室より、台風18号に伴う文化財の毀損状況について説明がありました。

経過として、9月17日日曜日、的山荘より、雨漏り、しっくい壁の剥落の被害報告があり、翌日9月18日月曜日には、学校教育課より、日出中学校前大サザンカの折損の報告があり、即時現地確認後、折損した枝の撤去など措置を行いました。

その他、町内指定文化財の被害状況を確認するため現地調査、電話確認を行い、大分県教育庁文化課及び日出町総務課へ報告を行ったとの説明でありました。

次に、歴史資料館、帆足萬里記念館1階展示室などの改修状況について報告がございました。改修工事完了予定日は12月15日ですが、展示ケースの枯らし期間や収蔵庫及び展示室・所蔵資料の燻蒸期間、展示品の選定、レイアウトの作成などに時間がかかるため、5月上旬を開館予定にしているとの報告でありました。

次に、健康増進課より、平成29年度分国保保険税額及び標準保険料率の第3回試算結果に基づく加入状況別のシミュレーション結果の報告がありました。

シミュレーションは、平成29年度も平成28年度と同額の法定外一般会計繰り入れなどを行

ったと仮定して算出された保険料率で行っているとの説明で、医療分が大きくマイナスとなっており、介護分と支援金分がプラスとなっています。

改正後の率で、日出町全体の国保税の調定額を試算してみると、介護分と支援金がプラスになったものの、医療分のマイナスが大きいため、調定額はマイナス20万400円となっています。

次に、加入者状況別シミュレーション結果の報告がありました。

シミュレーションは、単身、夫婦、夫婦子供2人、夫婦子供3人の世帯を想定し、ケース1からケース8まで行われており、介護分が課税される40歳から64歳までの世帯員がいるケースでは、年間の保険税額が全て増額となり、介護分が課税されないケースでは減額になるとのことでありました。

しかし、介護分が課税されていないケースでも、7割軽減がかかる世帯では増額となるとの結果の説明がありました。

また、平成30年度第1回目の納付金、標準保険料率の試算結果の発表が11月22日に行われるとの報告がありました。

以上で、所管事務調査の報告を終わります。

次に、当委員会は、11月22日午前10時半より、町内3福祉施設職員の方との意見交換会を実施しましたので、その概要を御報告いたします。

最初に、介護老人保健施設すずらんへ施設見学、また、日常サービスを見学し、その後、職員の方との意見交換をさせていただきました。

まず、現在の介護現場や制度の課題について意見をいただき、全国的にも課題になっていることが本町の介護現場でも課題であると、改めて再認識をいたしました。

内容として、介護にかかわる人材の確保や人材育成、各事業所の報告書などの書類が非常に多く、そのため、人や時間をとられ、負担が大きくなり、悪循環であるなど、その他多くの意見が出されました。

午後からは小規模多機能型居宅介護ジュエル藤原・特別養護老人ホーム暘谷苑へ、同じく施設見学を行い、意見交換を行いました。いずれの施設も課題は同じ内容でありましたが、特に多かったのは、認定調査について、市町村でばらつきがある。配食サービスについては、日出町に企業が少なく、今後、利用者が増加する上で懸念される。障がい者の雇用については、企業への周知、雇用できる環境の改善などの意見が出されました。

日出町においても、2025年には団塊世代が後期高齢者となり、介護予防・介護サービスの需要がさらに増加するものと考えます。現在、町における医療との連携による介護事業サービスの量だけでは十分にニーズに応えるには限界があるのではないかなど、危惧されるところではありますが、今回の意見交換会の内容をより深く考え、今後委員会で協議してまいりたいと考えてい

ます。

以上、甚だ簡単ではありますが、福祉文教常任委員会の閉会中の審査の報告とさせていただきます。

○議長（白水 昭義君） 次に、議会改革特別委員会委員長 川西求一君。川西君。

○議会改革特別委員長（川西 求一君） 議会改革特別委員会は、閉会中の11月15日、委員全員出席のもと、委員会を開催いたしましたので、その概要を御報告いたします。

まず、議会中継でございます。議会中継につきましては、日出町の議会基本条例にありますように、多様な広報手段を活用し、また広報の充実を図り、多くの町民が議会と町政に関心を持つよう努めなければならないとの、これまでの基本理念は変わらず議会中継の重要性を委員会としても確認した中で、当委員会といたしましては、現段階での情報発進に必要な施設整備費用などの予算計上を要求することといたしました。

議会中継の配信方法によります地域間の違いにつきましては、今後も防災情報との連携を持つことも視野に入れ、他の自治体との状況等も参考にしながら、引き続き来期改選後も検討を行いながら、議会中継の実施に向けた取り組みを行うことといたしました。

また、現在、当委員会名称について議論がされております。議会改革特別委員会と名称しておるものなんですけれども、これにつきまして、議会活性化特別委員会として改める旨の意見交換を行い、意見統一を行ったところでございます。

また、先ほど若干委員長のほうから報告がありましたけれども、町民との意見交換会の実施につきましては、それぞれの常任委員会において趣旨を整理した上で、執行部または関係団体等への報告を行っていただきたいとの確認をしたところでございます。

なお、タブレット使用によりますペーパーレス化の取り組み等につきましては、また執行部も含め削減効果等を検証しながら、今後も検証を行っていくことといたしました。

以上、甚だ簡単ではありますが、議会改革特別委員会の報告とさせていただきます。

○議長（白水 昭義君） 次に、議会報編集特別委員会委員長 森昭人君。森君。

○議会報編集特別委員長（森 昭人君） 御報告を申し上げます。

議会報編集特別委員会は、10月11日、16日に委員会を開催し、さきの9月定例会の内容を報告する日出町議会広報議会だより110号の編集作業を行い、10月26日に区長配布いたしましたところでございます。

また、当委員会は閉会中の10月24日から26日にかけて愛媛県西予市、高知県越知町に視察研修を行いました。西予市は5町が合併してできた人口3万9千人のまちで、市議会としては珍しく議会広報議員みずからが手づくりをして、シンプルでわかりやすい紙面。

また一方、越知町は人口5,800人の町の議会ではありますが、全国コンクール第1位を目指

し、32ページの超大作を手がけております。紙面構成は両者対称的であったため、いろいろな意味で多くを学んでまいりました。今後日出町議会広報誌も独自性を保ちながら、この研修で学んだことを生かし、少しずつでも紙面改革に取り組んでいきたいと考えております。

詳細につきましてはお手元に研修報告書を配付しておりますけれども、印刷ミスがございますので、興味があり熟読したい方は事務局に申し出ていただきたいと思います。

以上で報告を終わります。

○議長（白水 昭義君） 次に、議会運営委員会委員長 森昭人君。森君。

○議会運営委員長（森 昭人君） それでは、議会運営委員会の御報告を申し上げます。

議会運営委員会は、10月3日から5日にかけて兵庫県丹波市議会でタブレット導入によるペーパーレス議会と議会運営の活性化について、京都府精華町議会で議会運営の活性化と議会運営委員会のあり方について視察研修を行いましたので、その概要を御報告いたします。

丹波市は平成の大合併で5町が合併して誕生した人口6万3千人、面積493平方キロメートル、自然豊かで農業が盛んなまちであります。議会改革や議会の活性化はソフト・ハードの両面とも議会運営委員会が先頭に立って積極的に協議実践しています。中でも、平成26年に導入されたタブレットは、当時、執行部から例規集の単行本化に伴い専用タブレットを貸与したいという執行部からの提案を受けましたが、例規集のためだけに導入するということでは費用対効果が薄いという議会の総意によりまして、すぐさまICT推進チームが発足され、必要な要綱を整備し、協議から半年後に議会に導入されております。

現在、タブレットは、議員の実費負担千円で議員一人一人に貸与されまして、全20台、持ち出し可能で、議会内の情報伝達はもちろん、クラウド共有スケジュールや文書共有システムを導入し、執行部との情報管理や共有も可能となっております。

タブレットの導入経費は、機器購入などに155万円、運用費用は年額140万円で、ペーパーレスによる年額103万円の経費削減と議員の実費負担分プラス事務効率を考えると、ランニングコストはタブレット導入前とほぼ同額ということでもあります。

また、平成23年から本会議のインターネットによるライブ中継を開始、25年度以降は特別委員会、常任委員会、全員協議会も定点カメラにより順次ライブ中継を実施しているということでもあります。

次に、精華町、精華町は京都府の南西端、関西文化芸術研究都市構想の中心地で、人口3万8千人、面積26平方キロメートル、今なお都市建設が進められ、人口増加している町であります。

議会は、平成26年から通年議会を導入、さまざまな議会活性化の取り組みが評価され、町村議長会特別表彰も受賞をしております。また、議会が事務事業評価を実施、平成28年度一般会

計決算審査に際し、7つの事業を抽出して、必要性、公共性、費用対効果、成果の視点から点数評価し、改善意見を付して町長に提出をしております。

また、平成28年度から住民の皆さんとの意見交換会にワールドカフェ方式、ポストイット方式を導入し、参加者が増加傾向にあるということでもあります。

以上、研修の概要を簡単に御報告させていただきましたが、議会のタブレット導入は全国的な流れで、お隣の杵築市も今年度本格実施をしております。議会のライブ中継とあわせて、今後しっかり調査研究していかなければならないと考えております。

また、両市町ともに各種団体とではない一般住民の皆さんとの意見交換会が今なお活発であり、その他、今回学んだ各種議会の活性化の取り組みを今後の議会運営にしっかりと生かしていきたいと考え、議会議員の皆様、執行部の皆様には今後一層の御理解と御協力をいただきたいと思います。

なお、詳細につきましては、報告書をお手元に、これは大丈夫だと思いますが、配付いたしております。違う。（発言する者あり）おかしいそうなので、熟読されたい方は、これについては印刷し直して議員の皆さんにお配りをしていただきたいと思います。

以上、簡単ですけれども、議会運営委員会の報告とさせていただきます。

○議長（白水 昭義君） 以上で、委員長報告を終わります。

質疑・討論・採決

○議長（白水 昭義君） これより、委員長報告に対する質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（白水 昭義君） なければ、これで質疑を終わります。

これより、討論を行います。討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（白水 昭義君） なければ、これで討論を終わります。

お諮りします。ただいま報告のありました各常任委員会及び特別委員会における審査及び調査の件は、委員長の報告のとおり決定することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（白水 昭義君） 異議なしと認めます。したがって、各常任委員会及び特別委員会における審査及び調査等の件は、委員長の報告のとおり決定しました。

日程第6. 発委第6号

日程第7. 承認第8号

日程第 8. 議案第 5 2 号

日程第 9. 議案第 5 3 号

日程第 1 0. 議案第 5 4 号

日程第 1 1. 議案第 5 5 号

日程第 1 2. 議案第 5 6 号

日程第 1 3. 議案第 5 7 号

日程第 1 4. 議案第 5 8 号

日程第 1 5. 議案第 5 9 号

日程第 1 6. 同意第 1 2 号

日程第 1 7. 報告第 7 号

趣旨説明並びに提案理由の説明

○議長（白水 昭義君） 日程第 6、発委第 6 号議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正についてから、日程第 1 7、報告第 7 号損害賠償の額を定めることについてまでの発委 1 件、承認 1 件、議案 8 件、同意 1 件、報告 1 件を一括上程し、議題とします。

提出者から趣旨説明並びに提案理由の説明を求めます。

発委第 6 号議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について、趣旨説明をお願いします。議会運営委員会委員長 森昭人君。森君。

○議会運営委員長（森 昭人君） 発委第 6 号議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正についての趣旨の説明を申し上げます。

特別職の職員の給与に関する法律の一部を改正する法律に準じて、議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例を改定するものであります。

以上、御説明申し上げましたが、何とぞ議員各位の御賛同をお願いいたします。

○議長（白水 昭義君） 次に、承認 1 件、議案 8 件、同意 1 件、報告 1 件の提案理由の説明を求めます。町長、本田博文君。町長。

○町長（本田 博文君） 提案理由の御説明を申し上げます。

本定例会に御提案申し上げますのは、承認 1 件、議案 8 件、同意 1 件、報告 1 件であります。

以下、順次その概要を御説明申し上げます。

まず、承認第 8 号平成 2 9 年度日出町一般会計補正予算（専決第 2 号）についてであります。

補正をいたしました内容は、1 0 月 2 2 日に投開票が行われました第 4 8 回衆議院議員総選挙に係る予算を計上しております。補正をいたしました額は、既定の予算の総額に歳入歳出それぞれ 1, 1 8 7 万 8 千円を追加し、補正後の予算の総額を 1 0 3 億 3, 6 5 1 万 7 千円としております。

この専決予算は、地方自治法179条第1項の規定により、9月28日付で専決処分いたしましたので、同条第3項の規定に基づき今定例会で御承認を求めるものであります。

次に、議案第52号平成29年度日出町一般会計補正予算（第3号）についてであります。

補正をいたします額は3億7,510万4千円で、補正後の予算総額は107億1,162万1千円となります。

歳出予算の主な内容につきまして御説明申し上げます。

まず、民生費では、保育士等の処遇改善に伴う施設型給付費を計上し、平成28年度補助事業の精算に伴う国及び県への返納金を追加計上しております。

衛生費では、子ども医療費助成事業における医療費支払い委託料を計上しております。

土木費では、太田豊岡駅前線道路改良事業に係る電柱移転補償費を追加計上しております。

消防費では、杵築速見消防組合本部におけるデジタル無線の元利償還金など杵築速見消防組合負担金を計上しております。

教育費では、日出、藤原、川崎小学校の空調設備整備のための工事請負費を追加計上し、また、町内2つの幼稚園に設置する非常通報装置の購入費用を追加計上しております。

そのほかには、9月に発生した台風18号による農地や道路等の災害復旧事業費を追加計上しております。

今回の補正予算の財源としましては、事業実施に伴う国・県支出金、町債、財政調整基金等基金からの繰入金により財源措置しております。また、債務負担行為といたしまして住民基本情報や税務などの電算システムを入れかえるために、基幹システム導入委託料などを計上しております。

次に、議案第53号平成29年度日出町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）につきましては、国・県支出金を財源に、一般被保険者療養給付費等を計上しております。

また、平成28年度補助事業の精算に伴う国庫返納金を追加計上しております。

次に、議案第54号平成29年度日出町介護保険特別会計補正予算（第2号）につきましては、介護サービスの利用状況にあわせて保険給付費及び地域支援事業費等を計上しております。

次に、議案第55号平成29年度日出町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）につきましては、前年度決算に伴う繰越金等を計上しております。

次に、議案第56号日出町工場立地法地域準則条例の制定についてであります。

工場立地法で定められた緑地面積率及び環境施設面積率の緩和を図ることにより、企業活動の活性化や企業立地しやすい条件整備を行うものであります。

次に、議案第57号職員の給与に関する条例等の一部改正についてであります。

人事院勧告及び大分県人事委員会勧告に基づき、職員の給料及び勤勉手当並びに特別職の期末

手当の支給率等を改定するため、関係条例を整備するものであります。

次に、議案第58号職員の育児休業等に関する条例の一部改正についてであります。

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、非常勤職員の育児休業の再延長等について条例整備するものであります。

次に、議案第59号日出町民水泳プールの設置及び管理に関する条例の廃止についてであります。

日出町民水泳プールは、施設完成後45年が経過しており、利用実態もないことから、条例を廃止するものであります。

次に、同意第12号固定資産評価審査委員会委員の選任については、日出町固定資産評価審査委員会委員岩洋海氏の任期が平成29年12月25日で満了するため、後任者として同氏を選任したいので、議会の同意を求めるものであります。

次に、報告第7号損害賠償の額を定めることについては、損害賠償請求事件に関し、損害賠償の額を定めることについて、地方自治法第180条第1項の規定により専決処分したことから、同条第2項の規定により議会に報告するものであります。

以上、甚だ簡単ではありますが、本定例会に御提案申し上げます議案につきまして御説明申し上げます。何とぞ慎重な御審議を賜りまして、御賛同くださいますようお願い申し上げます。

○議長（白水 昭義君） 趣旨説明並びに提案理由の説明が終わりました。

散会の宣告

○議長（白水 昭義君） 以上で、本日の日程は全部終了いたしました。本日はこれで散会したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（白水 昭義君） 異議なしと認めます。したがって、本日はこれで散会することに決定しました。

本日はこれで散会します。御苦労さまでした。

午前11時25分散会
